

家畜衛生だより 令和8年8月号

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

牛の暑熱対策と応急処置

暑熱ストレスは家畜の生産性や繁殖性に大きく影響し、経営を圧迫する可能性があります。夏場は暑熱対策をしっかりと行いましょう。

○牛の適温域

乳牛	肉牛	育成牛
5～20℃	5～25℃	10～25℃

※2026年6月の県内平均気温は23℃

○生産性への影響

- ・増体量及び採食量の低下
- ・繁殖成績の悪化
- ・死廃率の上昇

○暑熱対策

- ・直射日光のカット
寒冷紗、カーテンの設置
- ・輻射熱のカット
屋根の断熱塗料、散水、石灰塗布
- ・畜体を冷やす
扇風機の使用、毛刈り、敷料の交換
- ・畜舎温度の上昇を防ぐ
換気、送風、密飼いを避ける
- ・飼料給与等の工夫
夜間給与、給餌回数を増やす、ビタミン・ミネラルの補給



○熱射病の主な症状

- ・呼吸が速い
- ・よだれが多い
- ・食欲・活力の低下
- ・発熱

○熱射病時の応急処置

- ・体に水道水を10～15分程度かけ続ける
- ・水分補給

◎市販のイオン飲料が手元にない場合の簡易経口補液剤

- ・食塩 4.5g（小さじすりきり1杯）
 - ・砂糖 20g（大さじすりきり2杯）
- 1Lの温水に溶かす

◎重篤な場合は早急に獣医師に補液処置を依頼してください。

◎畜産農家の皆様も、水分・塩分の補給や、涼しい場所での休憩など、熱中症対策を心がけてください。



気になることや不明な点がありましたら、
所轄の家畜保健衛生所にお問い合わせください。